

# ワクチン抗体検査

## 【犬】

ワクチン抗体検査とは、ワクチン接種によって体内に作られた抗体（抵抗力）がどれくらい残っているかを確認する検査です。

当院では、年1回抗体検査を実施し、抗体価が下がってきた場合に摂取させていただく方法もご提案しています。検査の結果、抗体が陽性なら一年後に再検査を行います。陰性ならワクチン接種を行います。ワクチンの証明書は検査後に発行させていただきます。

## 犬の8種ワクチンを接種されている方へ

8種に含まれている、レプトスピラ症の予防はワクチンの性質上（抗体が1年以上持続しないため）、年1回の接種が必要になります。

### メリット

- 少量の血液で検査できます。
- 不要なワクチンを打たなくて済むので、アレルギーや体調不良をできるだけ少なくできます。

### デメリット

- すぐには結果が出ません、後日お電話でご確認ください。
- 抗体価検査の結果、抗体が低い場合には後日ワクチン接種が必要になります。  
その分、費用が抗体検査代とワクチン代になってしまいます。
- ペットホテル、ドックラン、ペット保険などによっては、毎年1回の摂取が必要な場合があります。

## 【猫】

猫のワクチン接種は【3年に1回】これは、アメリカの猫内科学会および米国猫臨床医協会が報告した推奨プログラムが元になっているのですが、アメリカと日本では状況が異なります。現時点では、日本で製造・販売されているワクチンは全て、【1年に1回の接種】で認可が下りています。

以上の状況を加味して、病気のリスクが高い動物や感染リスクの少ないと思われる個体に対し、オーナー様と相談の上、接種時期を検討する場合があります。また犬と同様に、ペットホテル、ドックラン、ペット保険などによっては、毎年1回の摂取が必要な場合があります。

## 猫の4種ワクチンを接種されている方へ

4種に含まれている、猫白血病ウイルス感染症の予防はワクチンの性質上（抗体が1年以上持続しないため）、年1回の接種が必要になります。